

日本株セレクト・オープン “日本新世紀”

# 日本・小型株・ファンド

追加型投信／国内／株式

2024年12月10日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2023年6月13日～2023年12月11日

第 48 期 決算日：2023年12月11日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することにより、中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行ってまいります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第48期末 (2023年12月11日)

基準価額	17,914円
純資産総額	1,858百万円
騰落率	-2.3%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に  
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。



# ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用において主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

## 投資環境

日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などから、国内小型株式市況の動きを表す代表的な指数の1つであるRUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは上昇しました。

## 運用のポイント

当ファンドの運用においては、中長期的な成長性を重視したボトムアップ・アプローチにより個別企業のファンダメンタルズを分析のうえ、評価余地が大きいと判断される銘柄に対して積極的に投資を行いました。

当期間においては、主に米国におけるインフレの動向やそれに対応する金融政策、経済の動向が引き続き焦点となる中、日本においては東京証券取引所による企業価値向上に向け資本コストや資本収益性を意識した経営の要請と、企業側の対応状況などが注目される展開となりました。また日本におけるインフレは長年のデフレからの脱却につながるポジティブな要素として認識される面があり、企業の値上げへの取り組みなど日本の変化の兆しに注目が集まりました。企業業績は外国為替市場において円安ドル高が進行したことや、自動車の生産回復などが追い風となり、堅調な推移となりました。こうした外部環境の中、当ファンドにおいては引き続き個別銘柄のファンダメンタルズに焦点を当て、適宜銘柄の入れ替えを行いました。

上記の運用を行った結果、ファンドの騰落率は、2.3%の下落となり、ベンチマーク（RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス）を下回りました。

## 運用環境の見通しおよび今後の運用方針

引き続き、米国のインフレ動向とそれに対応した金融政策については、金融市場に与える影響が大きいと慎重に動向を見極める必要があると考えており、これまでの積極的な利上げの影響に注目しています。また地政学リスクの高まりや中国経済の状況等にも留意しています。一方、国内に関しては、日銀の金融政策が急速に引き締めへ転換することは想定しておらず、インバウンド増加による国内経済へのプラス効果などに加えて、企業価値向上に向けた企業側の取り組みなどが注目される状況が続くと考えます。

日本の小型株市場はいまだ非効率的で、投資家に十分に認知されていない成長企業は多く存在すると考えており、引き続き個別企業の中長期的な成長性の評価を軸に据えたボトムアップ・アプローチを徹底することで、魅力的な投資機会の発掘に努め、運用パフォーマンスの向上に注力します。



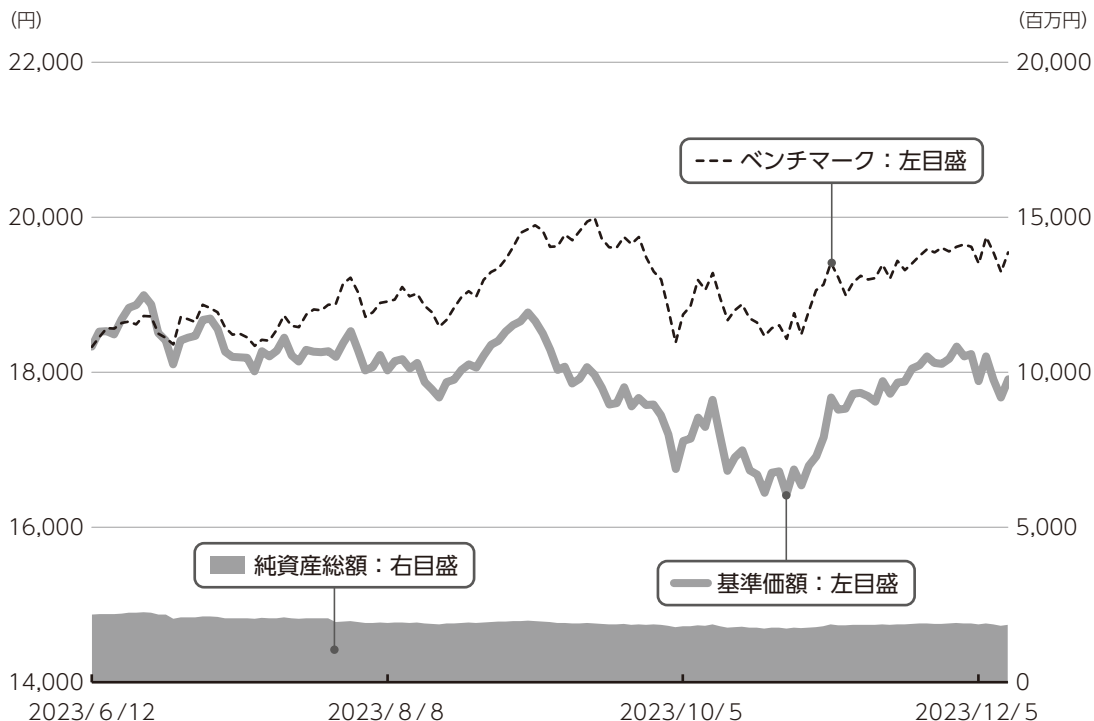
株式運用部  
ファンドマネージャー  
東海林 潤

# 運用経過

第48期：2023年6月13日～2023年12月11日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第48期首	18,334円
第48期末	17,914円
既払分配金	0円
騰落率	-2.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ2.3%の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（6.6%）を8.9%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

米国のインフレを巡る過度な懸念が後退したことや、堅調な国内企業決算などを背景に国内小型株式市況が上昇したことが、基準価額の一時的な上昇要因となりました。

**下落要因**

組み入れを行った個別銘柄の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

**銘柄要因**

上位5銘柄・・・大阪ソーダ、MARUWA、メイコー、アダストリア、わらべや日洋ホールディングス

下位5銘柄・・・円谷フィールズホールディングス、そーせいグループ、トプコン、Buy Sell Technologies、SHOEI

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2023年6月13日～2023年12月11日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	147	0.820	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 69)	(0.383)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 69)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 10)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.024	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 4)	(0.024)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	151	0.845	

期中の平均基準価額は、17,927円です。

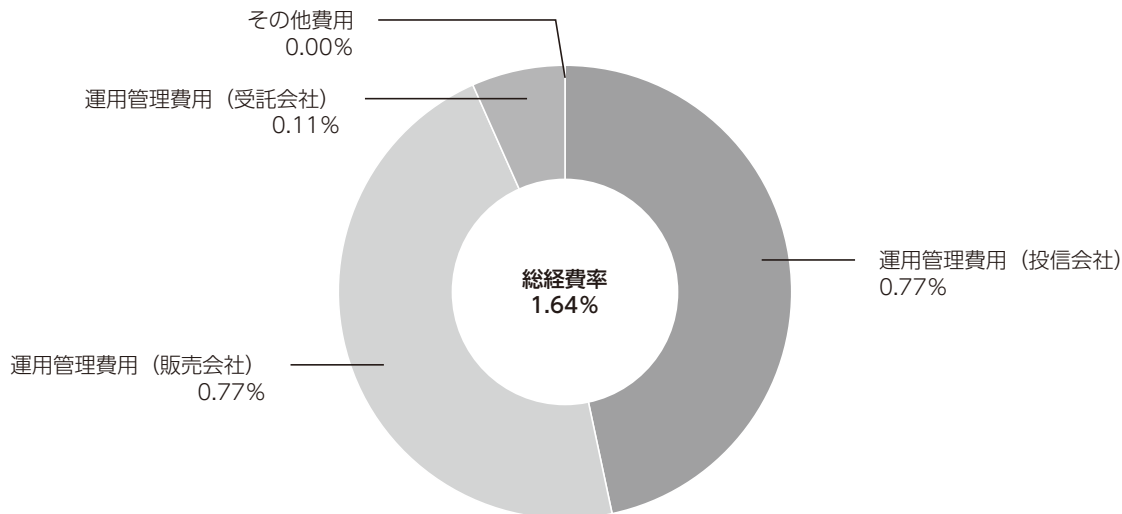
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.64%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年12月10日～2023年12月11日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2018年12月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/12/10 期初	2019/12/10 決算日	2020/12/10 決算日	2021/12/10 決算日	2022/12/12 決算日	2023/12/11 決算日
基準価額 (円)	16,668	17,408	19,146	20,502	17,959	17,914
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,100	1,500	1,150	500	350
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.0	18.6	13.3	-10.0	1.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	6.6	-4.3	7.5	-0.0	17.1
純資産総額 (百万円)	4,887	3,672	2,897	2,708	2,207	1,858

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。



第48期：2023年6月13日～2023年12月11日

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### 国内小型株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年9月前半にかけては、米国のインフレを巡る過度な懸念が後退したことや米国経済の見通しが改善したことなどを背景に上昇基調で推移しました。

9月後半から10月後半にかけては、米国の金融引き締め長期化による世界的な景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

11月前半から期間末にかけては、米国の追加利上げ懸念が後退したことや堅調な国内企業決算などを背景に上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 日本・小型株・ファンド

当ファンドは日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券を通じてわが国の小型株式に投資しています。

### ▶ 日本・小型株・ファンド・マザーファンド

国内小型株式のうち独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長が見込める企業などを中心に選別投資を行いました。組入銘柄数は概ね78～84銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化

や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入れ替えを行いました。当期間では、九州を中心に電気設備工事などを手掛ける「九電工」やAIを活用したマーケティングソリューションなどを提供する「Appier Group」など9銘柄を新規に組み入れました。一方、中古車販売事業などを手掛ける「ネクステージ」やバイオ医薬品企業の「ステムリム」など4銘柄を全株売却しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ 日本・小型株・ファンド

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（6.6%）を8.9%下回りました。

#### マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等のコストがマイナス要因となりました。

#### マザーファンド保有による要因

##### プラス要因

**業種配分要因：**電気・ガス業をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことや小売業をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

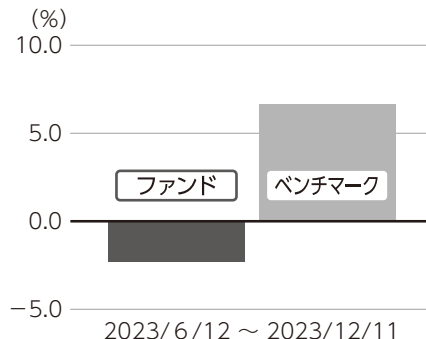
**銘柄選択要因：**「大阪ソーダ」や「メイコー」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

##### マイナス要因

**業種配分要因：**銀行業をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことや情報・通信業をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

**銘柄選択要因：**「円谷フィールズホールディングス」や「そーせいグループ」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

### 基準価額（ベビーファンド）と ベンチマークの対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第48期 2023年6月13日～2023年12月11日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,914

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 日本・小型株・ファンド

日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。株式の実質組入比率についても高位を維持する方針です。

### ▶ 日本・小型株・ファンド・マザーファンド

今後も、主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップ・アプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することを基本とします。

引き続き、米国のインフレ動向とそれに対応した金融政策については、金融市場に与える影響が大きいため慎重に動向を見極める必要があると考えており、これまでの積極的な利上げの影響に注目しています。また地政学リスクの高まりや中

国経済の状況等にも留意しています。一方、国内に関しては、日銀の金融政策が急速に引き締めへ転換することは想定しておらず、インバウンド増加による国内経済へのプラス効果などに加えて、東京証券取引所が企業価値向上に向け資本コストや資本収益性を十分に意識した経営を行うよう企業に求めたことに対する企業側の取り組みなどが注目される状況が継続すると考えます。

日本の小型株市場はいまだ非効率的で、投資家に十分に認知されていない成長企業は多く存在すると考えており、引き続き個別企業の中長期的な成長性の評価を軸に据えたボトムアップ・アプローチを徹底することで、魅力的な投資機会の発掘に努め、運用パフォーマンスの向上に注力します。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UF Jアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

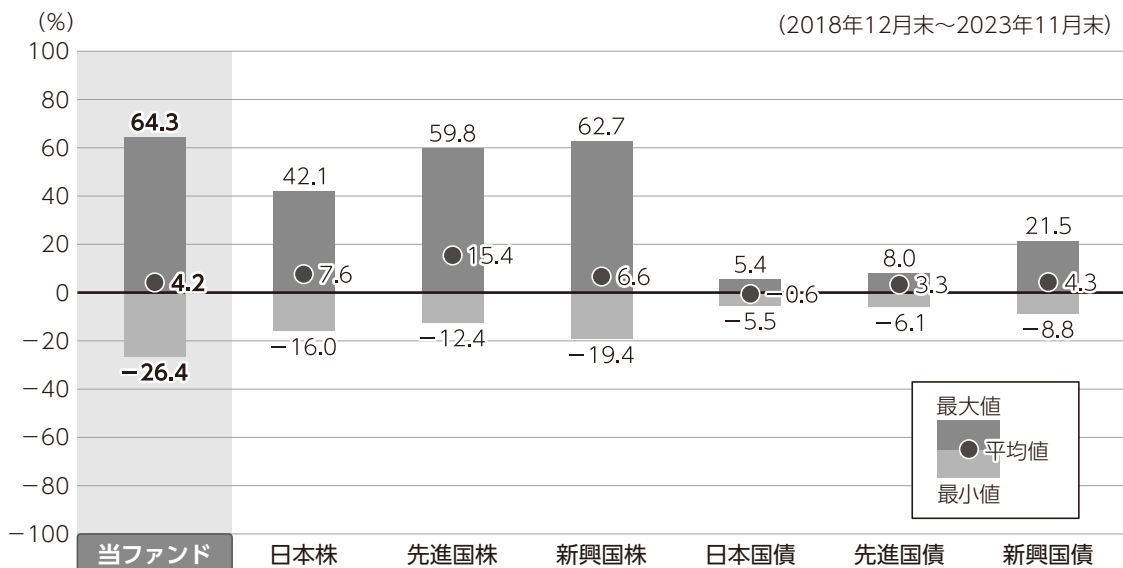
- ・当ファンドは信託約款に基づき、2024年12月10日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2024年12月10日まで（2000年3月31日設定）
運用方針	RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。マザーファンドを通じて、主としてわが国の小型株式の中から、ボトムアップアプローチにより成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>日本・小型株・ファンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■日本・小型株・ファンド・マザーファンド</p> <p>わが国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	わが国の小型株式を実質的な主要投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することにより、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年12月から2023年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年12月11日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第48期末 2023年12月11日
日本・小型株・ファンド・マザーファンド	99.8%

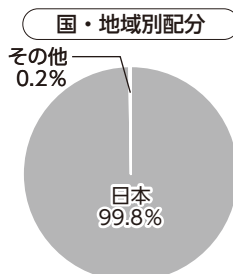
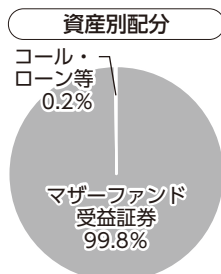
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第48期末 2023年12月11日
純資産総額 (円)	1,858,002,668
受益権口数 (口)	1,037,152,378
1万口当たり基準価額 (円)	17,914

※当期中において追加設定元本は29,422,777円  
同解約元本は186,352,626円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



355013

2023年12月11日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 日本・小型株・ファンド・マザーファンド

## 基準価額の推移

2023年6月12日～2023年12月11日



## 1万口当たりの費用明細

2023年6月13日～2023年12月11日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料	21	0.025
(株 式)	(21)	(0.025)
合計	21	0.025

期中の平均基準価額は、84,635円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：84銘柄)

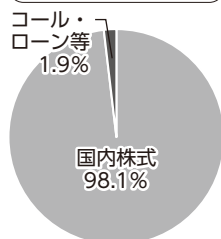
順位	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	Sansan	株式	日本	情報・通信業	2.6
2	アダストリア	株式	日本	小売業	2.6
3	パルグループホールディングス	株式	日本	小売業	2.6
4	MARUWA	株式	日本	ガラス・土石製品	2.5
5	インフロンティア・ホールディングス	株式	日本	建設業	2.4
6	インターネットイニシアティブ	株式	日本	情報・通信業	2.1
7	テフセリアルズ	株式	日本	化学	2.0
8	ライフドリンク カンパニー	株式	日本	食料品	2.0
9	メイコー	株式	日本	電気機器	1.9
10	ANYCOLOR	株式	日本	情報・通信業	1.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

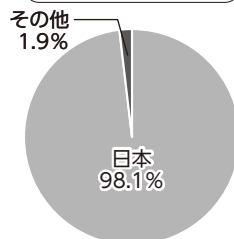
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

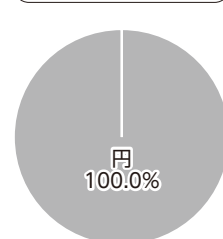
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス』について

RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、RUSSELL/NOMURA日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額（時価総額は全て安定持株控除後）の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。RUSSELL/NOMURA日本株インデックスは、Frank Russell Companyと野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している株価指数で、当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は両社に帰属します。なお、両社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

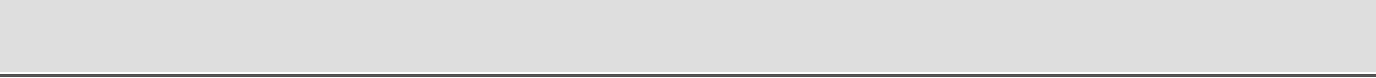
NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJアセットマネジメント